

## 梅雨どきに関節痛が現れる？

自律神経が様々な疾患に関与し、特に交感神経が慢性痛に影響を与えることはよく知られています。最近の研究によると、気圧が低下すると速やかに血圧と心拍数が上昇するそうです。一方、気温の低下によっても血圧と心拍数は上昇しますが、その反応は緩やかだそうです。また交感神経の活動亢進により、痛みに関連する神経系が直接応答することもあります。血管収縮やマクロファージからの炎症物質の放出、あるいは副腎髄質からのアドレナリン放出など、これらすべてが交感神経活動を介して痛みや冷受容器の反応を高めることもわかりました。慢性痛のある人で、西の方から低気圧が近づいてくる頃に痛みが増し、雨が降ってしまえば一旦落ち着き、天候が回復していく頃にまた痛みが出てくる人がいます。台風が来ることがわかるという人も数多くいます。多くの動物が地震を察知するように、同じ動物であるヒトが、気圧や天候の変化を痛みによって感じるとしても不思議ではありませんね。



## 胃潰瘍は西洋薬と漢方薬の併用が



ガスター等のH2ブロッカーの開発により、胃潰瘍に対する治療方法は劇的な変化をもたらしました。また、ヘリコバクター・ピロリ菌が関わっていることがわかり、除菌方法も確立しています。胃酸分泌抑制剤の効果は明かですが、薬剤を中止すれば再び胃酸が増えてくることも事実です。慢性的に胃酸分泌が亢進した病態の改善には、消化管の機能そのものの正常化が期待できる漢方薬の活用も有効です。漢方薬は西洋薬に比べて速やかに胃酸分泌を抑制するわけではありませんが、服用を続けることで症状が改善されてくると、胃酸分泌抑制薬の使用回数を減らせるだけでなく、漢方薬の服用量を減らしても症状が起こらなくなるのがよくあります。もちろん養生も大事なほうまでありません。



## マスクや消毒薬が市場から消えた！

あの騒ぎは何だったのかと今だから思えますが新型インフルエンザの患者が国内で発生。季節性インフルエンザなら一つの小学校で1日に欠席者が百人いても不思議ではないのに、テレビをつけると朝から夜まで新型インフルエンザの話題ばかり。日本の市場からマスクと消毒薬が消えるという異常な事態になりました。高校生の患者が多かったのは、耐性が無かったからとされていますが、果たしてそれだけが原因でしょうか？ 冬でも冷たい物を食べたり飲んだり、朝食もろくに摂らないで低体温の子が多いのに驚きます。免疫学で有名な安保徹先生は、体温が1℃下がると免疫力は37%低下すると説いておられます。また、抗菌グッズ、朝シャン、ウォシュレットなど子供たちの清潔志向も拍車をかけているのでしょう。今回の騒ぎは、自然界からの警告のように私には思えますが・・・。



## 全国の処方せん受付中

東北大学病院 国立仙台病院 市立病院  
東北公済病院 労災病院 開業医院など